最新版の説明書は
コチラをご覧ください

▼

取扱説明書　USER'S MANUAL

品番:28028215

eXs e-Bike MotoLike

eXs®

〔販売元〕株式会社カスタムジャパン
〒577-0814 大阪府東大阪市南上小阪9-5
www.customjapan.net

サンキューボーイ

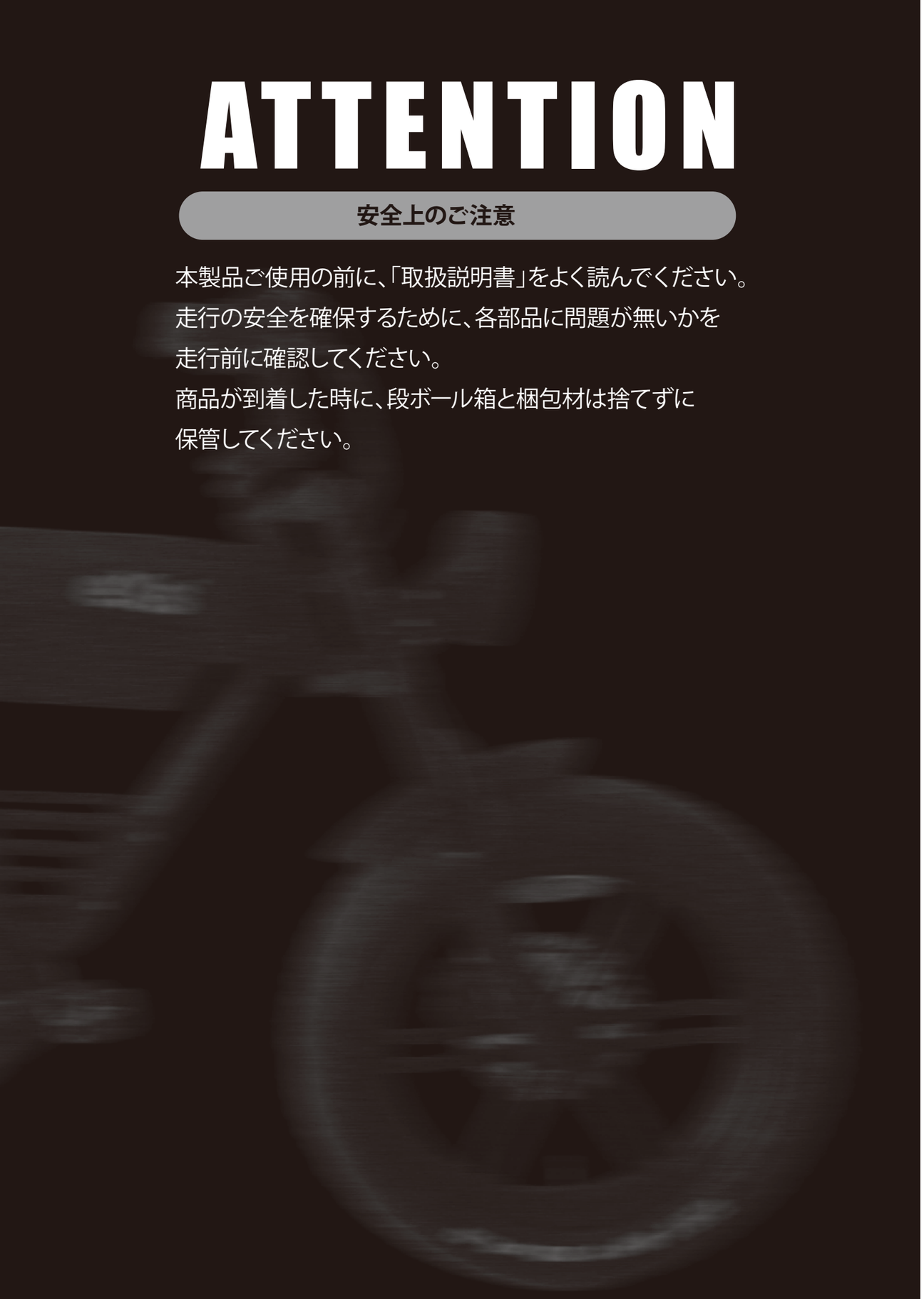
Marketed & Quality controlled by Custom Japan. Made in China

CustomJapan

ATTENTION

安全上のご注意

本製品ご使用の前に、「取扱説明書」をよく読んでください。
走行の安全を確保するために、各部品に問題が無いかを
走行前に確認してください。
商品が到着した時に、段ボール箱と梱包材は捨てずに
保管してください。



CONTENTS

目次

安全上のご注意 4
各部の名称 18
乗る前の点検と調整 22
バッテリーの充電 26
スイッチの使い方 29
乗り方 30
お手入れ方法 32
持ち運び・保管・廃棄について 34
定期点検 35
故障かな？と思ったら 36
保証について 40
仕様 41

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、製品の損害を防止するため、必ずお守り頂くことを説明しています。

■誤った使い方をした時に生じる危害や傷害の程度を区分して、説明しています。

⚠危険	死亡や重傷を負うおそれが大きい内容
⚠警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容
⚠注意	軽傷を負うことや、製品の損害が発生するおそれがある内容

⚠ 危険

バッテリーについて

■バッテリーを濡れた手や金属物で充電口の（＋）と（－）に直接触れてはいけません。（発熱、発火、破裂の原因）

■バッテリーをストーブや火のそばなど高温の場所で使ってはいけません。（発熱、発火、破裂の原因）

■バッテリーを加熱したり、火の中に投げ入れたりしてはいけません。（発熱、発火、破裂の原因）

■バッテリーを分解したり、外部から衝撃を与えたり釘などで刺したりしてはいけません。（発熱、発火、破裂の原因）

■バッテリーは本製品専用のため、本製品以外の機器で使用してはいけません。(バッテリー液漏れ、発熱、発火、破裂の原因)

■専用の充電器以外は使用してはいけません。(バッテリー液漏れ、発熱、発火、破裂の原因)

■バッテリーを落下させないでください。（発熱、発火、破裂の原因）

■専用バッテリー以外は使用しないでください。（発熱、発火、破裂の原因）

■バッテリーに水をかけたり、水中に投げ入れてはいけません。（発熱、発火、破裂の原因）

→バッテリー内部に水が浸入した場合は、使用を中止し、自転車店で点検を受けてください。

■バッテリーのケースに傷がついたまま使用しないでください。水が浸入して発煙や発火のおそれがあり、また液漏れし目に入った場合は失明するおそれがあります。

■大雨などで自転車本体が水に浸かった場合は使用しないでください。（突然アシスト

⚠ 危険

バッテリーについて

が停止して走行中にバランスを崩し、転倒するおそれ）

→バッテリーには生活防水性能（IPX5）を備えていますが、大雨などでバッテリー内部に水が浸入した場合は使用を中止し、自転車店で点検を受けてください。

■取付けの際は確実に自転車に装着されているか確認してください。きちんと装着されていない場合は走行中にバッテリーが脱落して転倒やけがをするおそれがあります。

→装着時に取外し方向に引いてみて外れないか、必ず確認してください。

充電器について

■本製品専用の充電器以外は使用してはいけません。バッテリーが液漏れ、発熱、破裂して怪我をするおそれがあります。

■電源コードや充電コードを充電器本体に巻き付けて保管しないでください。電源コードや充電コード・プラグが断線し、傷んだ状態で使用すると感電・故障・火災の原因になります。

■充電中はカバーをしたり、上に物を置いたりしないでください。内部が発熱して火災のおそれがあります。

■充電中は引火のおそれがあるものを近づけないでください。スパークするなどして火災や爆発の原因になります。

■分解や改造は絶対にしないでください。充電時にバッテリーの液漏れ・発熱による火災のおそれがあります。

■充電器に衝撃を与えたり、落下させたり、水に濡れるようなことをしたり、湿度の高い場所（屋外・浴室・洗面所・水がかかる場所）で使用したりしないでください。発熱・発火・感電のおそれがあります。

→充電器が水に濡れた場合、内部基板に水が浸入していることがあるので使用しないでください。

■充電プラグの端子を金属でショートさせないでください。（発熱・発火・感電のおそれ）

■幼児やペットが触れる所に放置しないでください。（幼児やペットがコードを破損させるなどして感電・故障・火災のおそれ）

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、製品の損害を防止するため、必ずお守り頂くことを説明しています。

⚠ 危険

充電器について

■電源コード及びプラグ、充電コード及びプラグ、ケースを破損させないでください。例えば傷つけたり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重量物を上に載せたり、コードを束ねたり、加工したりすると充電器が痛み、そのまま使用を続けると感電、故障、火災の原因になります。

充電器が痛んだ場合は販売店にご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超えての使用や家庭用の交流100V以外では使用しないでください。延長コードなどで（いわゆるたこ足配線など）定格を超えると発熱し、火災の原因になります。

■濡れた手で電源プラグや充電プラグの抜き差しはしないでください。（感電のおそれ）

■電源プラグや充電プラグは根元まで確実に差し込んでください。しっかり差し込めていないと、接触不良により感電や火災の原因になります。

■電源プラグや充電プラグに付いたほこりや汚れは定期的に取り除いてください。ほこりなどがたまると、湿気を帯びることで絶縁不良となり、火災の原因になります。

プラグを掃除する際はコンセントからプラグを抜いて乾いた布で拭き取ってください。

■充電中に異臭、煙の発生、異音などの異常を感じたらすぐに電源プラグと充電プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電し続けると火災や爆発のおそれがあります。

～バッテリーを自転車に取付けた状態で充電する際～

■屋外での充電はしないでくだい。コードが傷んで感電・故障・火災の原因になります。

■不安定な場所での充電はしないでください。コードが傷んで感電・故障・火災の原因になります。

■充電中にコードが足などに引っかからないようにしてください。コードが引っかかると自転車が転倒するおそれがあり、またコードが痛んで感電、故障、火災の原因になります。

充電時には自転車をしっかり固定し、転倒しないことを確認してください。

■充電したまま移動したり、クランクを回転させないでください。充電コードが自転車本体に引っかかり、コードが痛んで感電、故障、火災の原因になります。

⚠ 警告

車体について

■部品をご自身で取り外したり分解したり改造したりしないでください。転倒や衝突によりケガをするおそれがあります。

■本製品の不必要な損傷防止や使用者また周囲の安全のため電動アシスト自転車に乗れない人に本製品を貸し出さないでください。転倒や衝突によりケガをするおそれがあります。

■車体に異常が発生した際、特にブレーキ性能が低下した時は必ず修理点検してから使用し、電気系統が故障した場合は直ちに電源を切ってください。転倒や衝突によりケガをするおそれがあります。

■各部にがたつきや緩み、変形、ひび割れなどの異常があるときは乗らないでください。転倒や衝突によりケガをするおそれがあります。

（フレーム、フロントフォーク、ギアクランク、リアディレイラー、リム、スポーク、ハンドル、サドル、ペダルなど）

■調整後の締め付け・固定を確認せずに乗らないでください。転倒や衝突によりケガをするおそれがあります。

■ハブステップなどの突出物を取り付けないでください。（歩行者などにケガをさせるおそれ）

■車輪・チェーンなどの回転部に手や足を近づけないでください。（車輪・チェーンに手や足が巻き込まれてケガをするおそれ）

■ディスクローターやブレーキパッドなど注油禁止場所に注油しないでください。（ブレーキが効かなくなって衝突や転倒しケガをするおそれ）

■改造や分解はしないでください。部品の破損、ブレーキの動作不良により転倒や衝突してケガをするおそれがあります。

■以下のような事象が発生した時は、外観では異常が無くても自転車店で点検を受けてください。万一このようなことが起こった場合はブレーキの動作不良やフレーム・フロントフォークが折損したり、電動アシスト駆動ユニットの異常動作により転倒してケガをするおそれがあります。

・衝突、段差の乗り上げ、落下などで車輪が変形するほど強い衝撃が加わった時

・ペダルやクランクに強い衝撃が加わるような衝突や転倒をした時

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、製品の損害を防止するため、必ずお守り頂くことを説明しています。

⚠ 警告

ブレーキについて

■前後ブレーキの作動を確認せずに乗らないでください。ブレーキの作動不良により怪我や車両破損をするおそれがあります。

■ブレーキレバーの引きしろが適正ではない状態では走行しないでください。
ブレーキの作動不良により怪我や車両破損をするおそれがあります。

■タイヤやブレーキから異音がする場合は使用しないでください。ブレーキの作動不良により怪我や車両破損をするおそれがあります。

■雨天時や下り坂ではスピードを出さないでください。ブレーキの作動不良により怪我や車両破損をするおそれがあります。

■自転車を倒立、または横にした状態にしないでください。
→本製品はディスクブレーキを装備しています。自転車を倒立させたり横にした場合、リザーバータンク内の気泡がキャリパー方向に移動してしまい、この状態で走行するとブレーキが正常に作動せず大けがをするおそれがあります。

※ブレーキレバーを握ってもブレーキが利いている感触が無い場合は使用を中止し、自転車店へご相談ください。

※オイル漏れが発生した場合はすぐに使用を中止し、自転車店へご相談ください。

■ブレーキパッド交換サインが表れたら、パッドを交換してください。
ブレーキの作動不良により怪我や車両破損をするおそれがあります。

■ブレーキ操作の練習を十分に行ってください。ブレーキ操作に不慣れな状態で走行すると、レバーを必要以上に強く握ってしまい、ブレーキの効き過ぎによって前のめりに転倒したりバランスを崩したりして、ケガをする恐れがあります。
→ご購入後、走行する時には、最初は交通量の少ない安全な場所で時速10kmくらいのスピードで走行してブレーキ操作を繰り返し練習し、ブレーキをかけた時の挙動や特性を把握してください。その後徐々に速度を上げて安全を心がけて走行してください。

■ご使用の車両により、使用できるブレーキオイルの種類が異なります。
誤ったオイルを使用すると、ブレーキが正常に作動せず、重大な事故の原因となる恐れがあります。必ず以下のブランド名を確認し、対応するオイルをご使用ください。

・JAYFICLE（ジェイフィクル）製ブレーキ：DOT3オイル専用
・STAR UNION（スター・ユニオン）製ブレーキ：ミネラルオイル専用

ご不明な場合は、販売店または弊社にお問い合わせください。

⚠ 警告

使用上のお願い

●道路交通法や法定速度などの交通法規は厳守してください。
●乗車人数と荷物積載については法律及び各モデルの規定に従ってください。電動アシスト自転車は法律により大人の二人乗りは禁止されています。
●自転車でもヘルメットの着用が法律により努力義務となっていますので、走行する際はヘルメットを着用してください。
●雨天時や降雪時はブレーキをかけてから停止するまでの距離が長くなるのでスピードを控え目に走行し、車間距離を空けるなど常に安全走行を心掛けてください。
●悪天候の時は本製品を極力使用しないでください。また道路冠水時は使用をお止めください（ホイールの3分の1以上が水に浸かる程度以上の時）。
●本製品は決められた駐輪スペースに駐輪し、建物の入口や道路には駐めないでください。

チェーンについて

■チェーンがたるんだ状態で走行しないでください。そのままの状態で使用を続けると、走行時にチェーンが外れやすくなり、変速不良、また転倒や衝突によりケガをする原因になります。

チェーンがたるんでいると感じたら、自転車店で調整してください。

ヘッドライトについて

■ライトの取り付けが緩んだまま走行しないでください。ライトの角度が走行中に変わり、前方の視界不良で衝突や転倒してケガをするおそれがあります。

■ライトの光を正面から見たり見続けたりしないでください。目を痛める原因になります。

■バッテリー残量が少ない状態で夜間時に走行しないでください。ライトが消灯して前方が見えなくなり、衝突や転倒によりケガをするおそれがあります。

・夜間走行時にライトが点滅や消灯状態になった場合は、安全のため自転車から降りて押して歩いてください。
・無灯火での夜間走行は法令違反です。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、製品の損害を防止するため、必ずお守り頂くことを説明しています。

⚠ 警告

フロントサスペンションフォークについて

■フロントサスペンションフォークのボルトなどを外して分解しないでください。部品が破損したり、誤った方法での組み立てにより故障したりトラブル発生の原因になります。
　異常を感じた場合は販売店にご相談ください。
■廃棄時などでフロントサスペンションフォークを火中に投棄しないでください。火中で破裂してやけどをするおそれがあります。
■サスペンションがスムーズに動作しない場合は走行を中止してください。そのまま使用を続けると故障や事故に繋がるおそれがあります。

自転車に乗る前に

■乗る前に必ず点検を行ってください。（P22 ～ 25「乗る前の点検と調整」をご覧ください）衝突や転倒によりケガをするおそれがあります。
■身体に合う状態での乗車姿勢を保ってください。身体に合わない状態で走行すると衝突や転倒によりケガをするおそれがあります。
この車体では、主にハンドルの角度を調整することにより使用される方の身体に合わせることができます。
・自転車乗ってみて以下の操作がスムーズにできるか確認してください。衝突や転倒によりケガをするおそれがあります。
　スムーズにペダリングできる
　ブレーキや変速操作が確実にできる
　ストレスなくハンドル操作ができる
■一般道路での走行の前に、公園や広場などの車が通らない平坦な場所で練習して慣れるようにしてください。衝突や転倒によりケガをするおそれがあります。
・電動アシスト自転車の走行に慣れるまではモード１の軽いアシスト力で走行してください。
■安全な服装で自転車に乗ってください。裾の広い長ズボンやスカート、マフラーなど風になびくような服装で走行すると、チェーンなどへの巻き込み、ギアへの引っかかりなどで服が汚れたり破損したりする他、パーツの故障や衝突・転倒によりケガをするおそれもあります。
・ズボンの汚れやチェーンへの巻き込み・ギアへの引っかかりなどを防止するため、ズボンの裾をバンドで止めたり、風によって広がらないような服装で乗車してください。

⚠ 警告

車輪の固定確認

■車輪がしっかりと固定されているか確認してください。固定が緩いまま走行すると、車輪が外れて転倒し、ケガをするおそれがあります。
■タイヤ・チューブの交換で車輪を脱着する時は、適切な工具を使用し、交換後に車輪を取り付ける際は確実に固定されているかを確認してください。

安全に走行するために

■走行する時はワイヤー錠をハンドルや車輪の近くにぶら下げないでください。車輪に巻き込まれたりハンドルに引っかかるなどして転倒しケガをするおそれがあります。
■バッグのひも、イヤホンのコード、キーホルダーなどがぶら下がった状態で自転車に乗らないでください。車輪やチェーンに巻き込まれて転倒のおそれがあります。
■走行中に電源のON/OFFやアシストモードの切替え、ライトの切替えなどの操作をしないでください。誤操作により思いがけない挙動でバランスを崩したり、前方や周囲への注意力低下により衝突・転倒したりしてケガをするおそれがあります。
　・操作する際は必ず停止した状態で行ってください。
■停車中は前後のブレーキをかけ、ペダルに足を乗せないでください。停車中に足をペダルに乗せていると、不意にアシスト力が働いて転倒や衝突によるケガのおそれがあります。
■走行中は速度を出しすぎず、安全走行を心がけてください。スピードが速すぎると不意な飛び出しなどに対処しきれず衝突や転倒、また接触してケガをするおそれがあります。
■発進時や低速走行時はペダルを強く踏み込まないでください。不意な急発進や急加速で転倒や衝突といった事故でケガをするおそれがあります。
　・軽くペダルを踏むことにより、安全で快適なアシスト力を得ることができます。
■発進時やきつい上り坂を走行する時は重いギアは使わないでください。
　・軽いギアを使用することで、スムーズな加速と走行ができます。
■バッテリー残量が少ない状況の時は、上り坂では走らないでください。途中でアシスト力が切れてバランスを崩し、転倒するおそれがあります。
■サイドリフレクター、リアリフレクター、ペダルリフレクターの安全装置は取り外さないでください。これらを取り外して走行すると、周囲からの視認性が大幅に低下して相手方が直前までお客様や自転車の存在に気づかず接触などの事故でケガをするおそれがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、製品の損害を防止するため、必ずお守り頂くことを説明しています。

⚠ 警告

安全に走行するために

■タイヤの空気圧が低い状態やパンクした状態では走行しないでください。そのような状態で走行するとハンドルが取られたりタイヤが車輪から外れたりして転倒し、ケガをするおそれがあります。

・走行中にパンクやタイヤの異常に気づいたら、安全のためにすぐに停止して使用を中止し、タイヤ・チューブを交換するか自転車店に相談してください。

■走行の際はサドルにしっかりと跨がった状態から発進してください。決してサドルに跨がらない状態で片足だけでペダルを踏んで発進（けんけん乗り）しないでください。バランスを崩して転倒し、けがをするおそれがあります。

■自転車から降りて押し歩きする場合は、電源を切ってください。電源が入っている状態で押し歩きすると、不意にペダルに力がかかった時にセンサーが感知してアシスト力が働き、思わぬ挙動でけがをするおそれがあります。

変速時の注意

■次のような変速はしないでください。事故や故障の原因になります。

ペダルを止めたままでの変速

停止している時の変速

ペダルを逆回転させながらの変速

ペダルを強く踏み込みながらの変速

シフトレバーを無理に操作しての変速

■変速する時はペダルを踏む力を抜いて、軽く回転させながら操作してください。間違った変速操作で無理に強い力がかかると、チェーンやギアの変形や変速機の故障、ギアの歯欠け、チェーン切れといったトラブルを引き起こし、バランスを崩して転倒や衝突してケガをするおそれがあります。

・特に上り坂の途中での変速操作は強い力をペダルにかけながら変速してしまうことが多いので、上り坂に差し掛かる前に軽いギアへ変速するように心がけてください。

⚠ 警告

交通事故を防ぐために

■車の横を走行する時は、急に車のドアが開いたり人が飛び出したりするので、最大限の注意を払ってください。事故の原因になります。

■学校や公園が近くにある場所を走行する時は、子供や乗物、ボールなどの飛び出しに注意してください。事故の原因になります。

■交差点を通る時は、左折してくる車に巻き込まれないように注意して交差点を通過してください。事故の原因になります。

転倒事故を防ぐために

こんな使い方は絶対にしないでください！

■踏み台の代りにするなど走行以外には使わないでください。転倒のおそれがあります。

■車輪にボールなど物を入れて走らないでください。物が車輪と車体に挟まって突然自転車がロックし、転倒するおそれがあります。

■段差や溝など激しい凹凸がある場所を走らないでください。フレームや車輪に大きな負荷がかかって損傷し、転倒するおそれがあります。

・段差がある場所はできるだけ自転車から降りて押して歩いてください。

・この自転車は軽車両として扱われますので、自転車走行可の歩道や自転車専用道路は走行できませんが、押し歩きする場合は歩行者としての扱いになります。

こんな乗り方は絶対にしないでください！

■傘や釣り竿、ステッキなどを車体に差し込んだり引っかけたりして走行しないでください。それらが車輪に巻き込まれて突然ロックし転倒したり、思いがけない方向に動いたりして周囲の人にぶつかって事故になるおそれがあります。また車体が故障する原因にもなります。

■手やハンドルに荷物をかけての走行はしないでください。バランスを崩しやすくなる他、荷物やそのひもが車輪に巻き込まれて転倒するおそれがあります。

■ペットを繋いだ状態での走行も危険です。ペットの不意な動きで自転車が引っ張ら

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、製品の損害を防止するため、必ずお守り頂くことを説明しています。

⚠ 警告

転倒事故を防ぐために

れ、転倒してケガをするおそれがあります。

■スカートやマフラー、傘など車輪やチェーンに巻き込まれやすい物を身につけて乗らないでください。それらが車体に巻き込まれると転倒するだけでなく身体の一部が圧迫され大きなケガにつながるおそれがあります。

■悪天候下では使用しないようにしてください。大雨・強風暴風・大雪の時はスリップや突風に煽られたりして安全な走行が困難になり、バランスを崩して転倒する危険性が高まります。

・雨の降り始めなどでも路面の一部が濡れてタイヤが滑りやすくなります。特に乾いた路面から濡れた路面になるなど道路状況の急な変化にはご注意ください。

■カーブを走行する際、曲がる側のペダルを下げた状態を避けてください。ペダルが路面と接触して車体が不安定になり転倒するおそれがあります。

■かかとの高い靴や厚底靴、滑りやすい靴などを履いて乗らないでください。足がペダルからずれてバランスを崩し、転倒するおそれがあります。

■ウイリーやジャックナイフなど通常の方法以外の乗り方はしないでください。転倒やケガをするおそれがあります。

■自転車に乗った状態での段差の乗り降りをしないでください。転倒やケガをするおそれがあります。

■土踏まずやかかとではペダルを踏まないでください。足が前に出過ぎることでハンドルを切った時につま先が前輪に当たり転倒してけがをするおそれがあります。

・ペダルは足の母指球あたりで踏むと効率的に力をかけることができます。

■走行中は常に両手でハンドルを握り、片手や両手をハンドルから離さないでください。予期せぬ挙動でバランスを崩して転倒するおそれがあります。

■滑りやすい場所では走行しないでください。スリップして転倒するおそれがあります。そのような場所では自転車から降りて、押し歩きしてください。（積雪や凍結した路面、濡れた路面、大理石などの石版、タイル、マンホールや側溝のふた、白線などの路面上の表示、点字ブロック、砂や砂利が乗っている路面、ぬかるんでいる場所など）

⚠ 警告

消耗品を交換する時は

■交換の際は純正部品を使用してください。純正部品以外を使用した場合は故障や事故が起こるおそれがあります。

・お買い求めの販売店などで部品を注文してください。

定期点検

■自転車から異音がしたり異常を感じたりした時は点検し、異常が無い時でも6ヶ月に1回の定期点検を実施してください。また購入されてから2ヶ月経過した段階で初回点検することをお薦めします。点検することにより故障や事故のリスクを軽減し、快適な走行を持続できます。

・点検は自転車販売店などで自転車安全整備士・自転車技師に依頼してください。

・定期点検は6ヶ月ごとに、継続して受けることをお薦めします。

・初回（2ヶ月点検）の点検と整備：ご購入後約2ヶ月程度のご使用で各部にねじの緩みが出ることがあるので、この段階で点検を受けることをお薦めします。

■シフトケーブルは、見た目に異常が無い場合でも2年に1回は交換してください。ケガや故障の原因になります。

■ブレーキパッドは厚さが0.5mm以下になる前に交換してください。パッドが摩耗しすぎるとブレーキが効かなくなって転倒・衝突のおそれがあり、またディスクローターを傷つけて故障の原因にもなります。

■タイヤはトレッドの凸が無くなる前に交換してください。ケガや故障の原因になります。

・当製品のタイヤサイズ（仕様表P22をご参照ください）に合ったものと交換してください。また交換は自転車店にご依頼ください。

保管する時は

■不安定な場所に自転車を保管しないでください。風に煽られて自転車が転倒したり、傾斜により自転車が動いたりして事故につながるおそれがあります。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、製品の損害を防止するため、
必ずお守り頂くことを説明しています。

⚠ 警告

自転車の交通安全ルールについて

■以下の乗り方は絶対にしないでください。転倒やケガをするおそれがあります。
　ヘッドホンを使用しての運転・飲酒運転・傘をさしての運転・二人乗り・携帯電話・スマートフォンを使用しながらの運転・信号無視・逆走
■道路標識や道路の規則を遵守して走行してください。転倒やケガをするおそれがあります。
■走行の際は車道を通行してください。転倒やケガをするおそれがあります。
　・歩道と車道の区別がある場所では、自転車は車道の左側に寄って通行してください。路側帯を通行する場合でも、左側部分に設けられた路側帯を通行しなければなりません。

・この電動アシスト自転車は、道路交通法で定める普通自転車の全幅の規定を超えているため、自転車走行可の表示がある歩道でも走行できません。
・その他、「自転車を除く」と道路標識に記載のある場合も、普通自転車としての扱いをされないので、標識の指示に従って走行してください。
・自転車専用道路の走行については各自治体によって扱いが異なるので、走行する各自治体に確認してください。
※普通自転車とは：車体の長さが190cm以内、幅60cm以内であることや車体構造が法令で定める基準に適合している自転車のこと。

■夜間やトンネル内、視界の悪い時はヘッドライトを点灯して走行してください。転倒やケガをするおそれがあります。
　・夜間時に無灯火で走行することは法令に違反しています。暗くなりそうな時は早めにライトをつけましょう。
　・ライトが点灯していない状態だと周囲から視認されにくくなり、事故の原因になります。ライトが点灯しない場合は自転車で走行せず、押して歩いてください。
■自転車に乗る時は自転車用ヘルメットを着用してください。
　・2023年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されました。
■交差点では一時停止と安全確認を行ってください。常に安全走行を心がけながら、特に交差点では一時停止の標識を守り、広い道路に出る際は徐行して周囲の状況を確認し、通行してください。また、信号機がある場合はたとえ通行量が少なくても必ず守ってください。事故の原因になります。

⚠ 警告

運搬する時は

■自転車を運搬する時はバッテリーを外してください。バッテリーを取り付けた状態で運搬すると、不意にペダルに力がかかりセンサーが感知して車輪が回転してしまい、巻き込まれてケガをするおそれがあります。

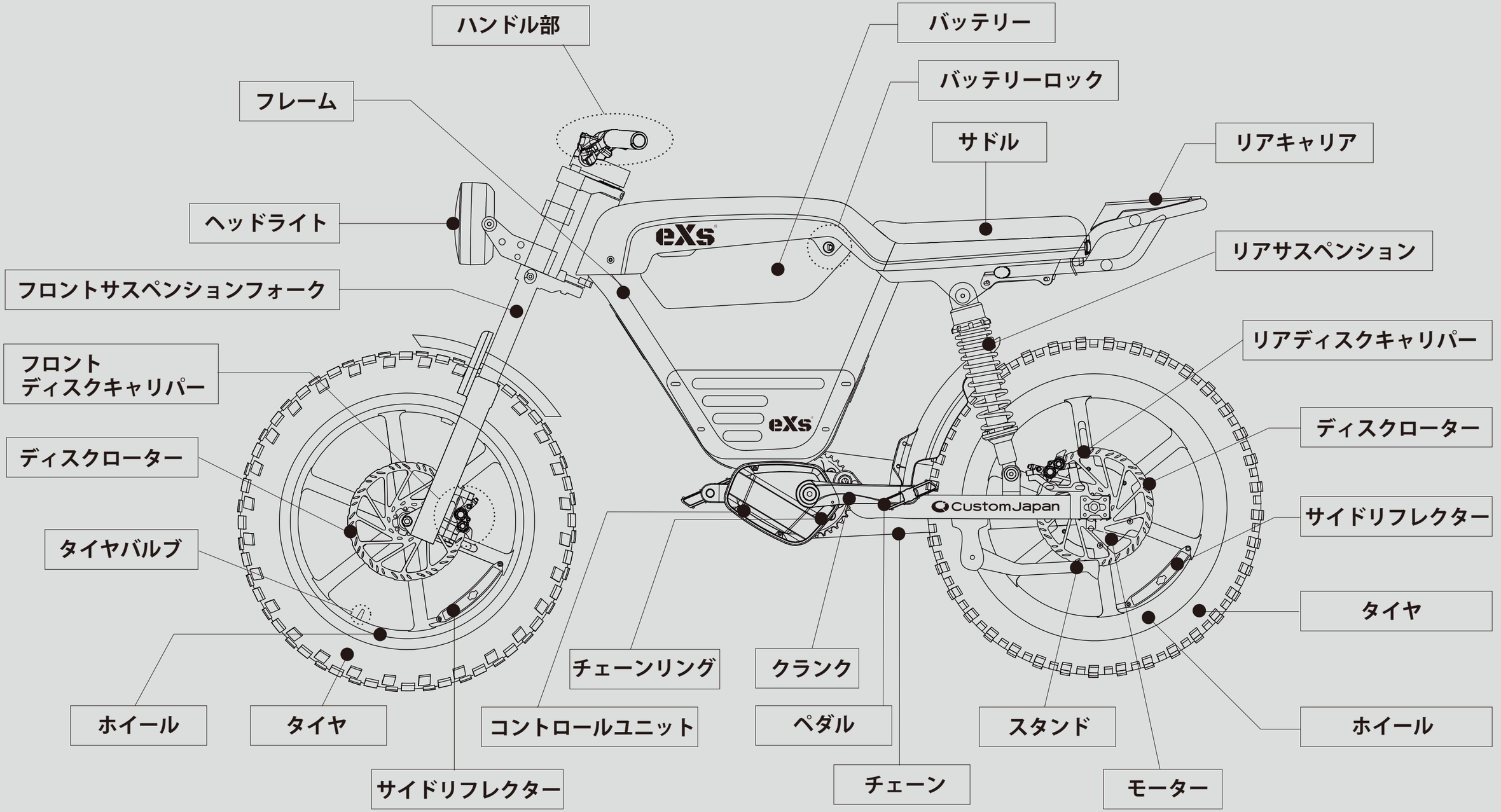
包装の袋などは

■梱包資材や取扱説明書が入っているポリ袋などは幼児の手の届く所に置かないでください。飲み込んだり、頭から袋をかぶったりして口・鼻・のどを塞ぎ窒息するおそれがあります。

PART NAMES
各部の名称

バッテリー電源ボタン　充電端子

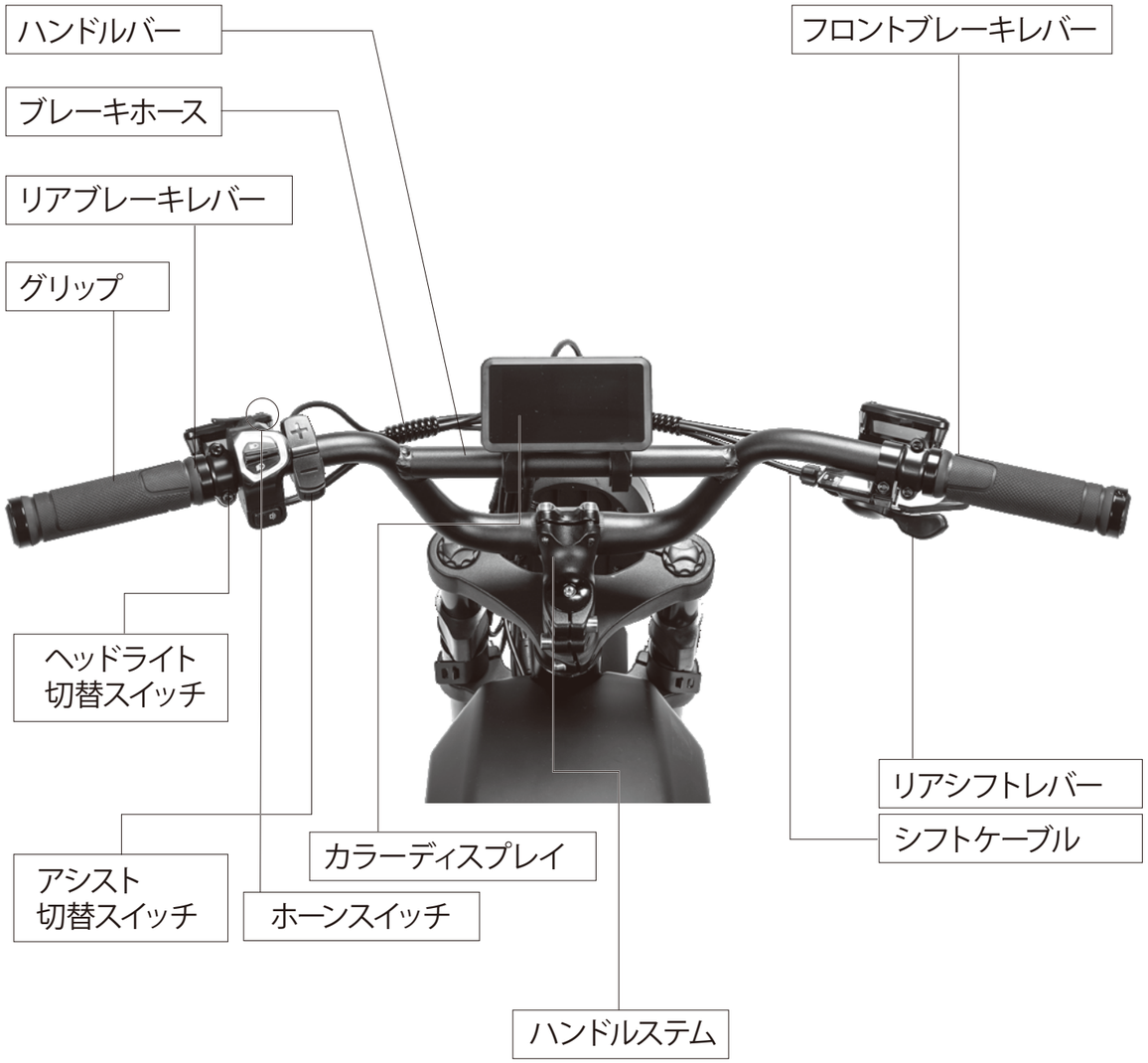
リアディレーラー



ハンドル部
フレーム
ヘッドライト
フロントサスペンションフォーク
フロント
ディスクキャリパー
ディスクローター
タイヤバルブ
ホイール
タイヤ
サイドリフレクター
バッテリー
バッテリーロック
サドル
リアキャリア
リアサスペンション
リアディスクキャリパー
ディスクローター
サイドリフレクター
タイヤ
ホイール
チェーンリング
クランク
コントロールユニット
ペダル
スタンド
チェーン
モーター

PART NAMES
各部の名称 (つづき)

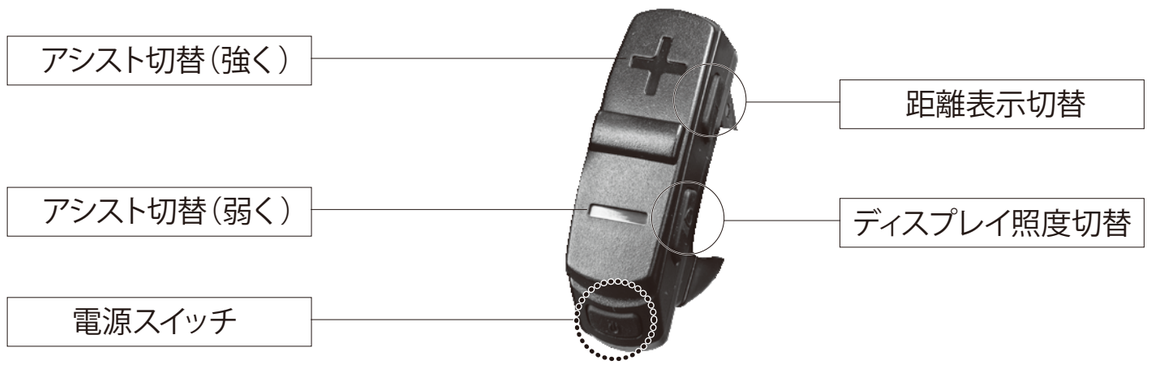
ハンドル部 | HANDLE



カラーディスプレイ | COLOR DISPLAY

速度、アシストモード、バッテリー残量を確認できます。

アシスト切替スイッチ | ASSIST SWITCH



INSPECTION AND ADJUSTMENT

乗る前の点検と調整

走行前に下記の確認事項をよく点検・調整してください。

段ボール箱から取り出し～組立完了までの流れ

※作業ができる広いスペースで、必ず2人以上で作業してください。

①段ボール箱を安定した場所に置きます。（作業スペースが必要になるため、広い場所を確保してください）

②段ボール箱の上部を開け、車体を取り出します。

③車体に装備されているキックスタンドを立てて車体を自立させます。

④車体を保護している梱包材を全て取り外します。

⑤ハンドルバーをステムとボルトで仮止めします。

注意：ハンドルの取り付け方法に注意してください。ブレーキレバーがハンドルバーの前方に装着されている方向が正しい取り付け位置です。

⑥六角レンチ（5mm）を使用してハンドルバーを取り付けます。

⑦カラーディスプレイを適度な角度に調整し、六角レンチ（2mm）で固定します。

⑧ペダルレンチを使用して、ペダルを取り付けます。

（必ずクランクとペダルに付いているLとRをそれぞれ合わせてください）

⑨ヘッドライトの角度を調整します。

（正しい角度は平行より少し下側に向いている状態です）

⑩バッテリーがしっかりと装着されているか確認し、電源ボタンを押します。

⑪カラーディスプレイが正しく表示されているか確認します。

⑫ヘッドライト、テールライトが正しく点灯しているか確認します。

⑬ブレーキレバーを握ってみて、ブレーキランプが点灯するか確認します。

⑭車体を屋外に移動させ、軽くペダルを踏んでみてアシスト力が効くか確認します。

⑮変速やブレーキが正しく動作するか確認しながら試走し、電動アシスト走行にしっかり慣れてからご使用ください。

●シフトレバー/リアディレーラー

・確実に変速されるか

・レバーはスムーズに操作できるか

・ギアに歯欠けは無いか

●ブレーキレバー/ブレーキ

・ブレーキがしっかり効くか

・オイル漏れは無いか

・レバーの開きや引きしろは適正か

・レバーはスムーズに操作できるか

・レバーを握っていないのにブレーキがかかったりしないか

・左右とも、レバーを握った状態でグリップとレバーの間隔が2～3cm空いているか

●ハンドル

・ハンドルが確実に固定されているか

・ハンドルがスムーズに回転するか

・ハンドルの角度が適正か（前ホイールに対して直角）

●グリップ

・握った状態で回らないか

・ハンドルから抜けそうにならないか

・ひび割れ等がないか

●ブレーキホース/ケーブル類

・さび・断線・固着・損傷などがないか

●タイヤ

・タイヤの摩耗や傷、断裂等がないか

・タイヤに異物が付いていないか

・空気圧は適正か　　最大空気圧：30PSI

INSPECTION AND ADJUSTMENT

乗る前の点検と調整 (つづき)

走行前に下記の確認事項をよく点検・調整してください。

●ホイール

・へこみ、傷などがないか

●チェーン

・空回りしないか
・注油はされているか
・錆びがないか
・チェーンがたるんでいないか
・回転の際にどこかに接触しないか
・異常な音の有無

●ペダル／クランク

・スムーズに回転するか
・がたつきなどがないか
・変形、ひび割れはないか

●フレーム

・変形やひび割れ、錆びがないか
・ケーブル類がフレームに巻き付いていないか

●フロントサスペンションフォーク

・サスペンション機構はスムーズに動作するか
・変形やひび割れはないか
・フォーク下部に油が漏れていたり傷が付いていたりしないか

●バッテリー

・電源ONの時にバッテリーの残量表示ランプが点灯するか
・バッテリーの外観に変形やひび割れが見られないか
・バッテリーを本体に装着した際に取付部にしっかりはまっているか

●ヘッドライト

・正常に点灯するか
・適切な取付け角度になっているか
・ライトの光がケーブル等で妨げられていないか
・変形や汚れはないか
・ケーブルがたるんだり、断線、損傷をしていないか

●アシスト切替スイッチ／カラーディスプレイ

・ケースやスイッチに変形やひび割れがないか
・ケーブルの断線や損傷はないか
・電源ONの時、正常に表示されるか（バッテリー残量、モード、速度）
・ケーブルのコネクターは外れていないか

●リフレクター

・割れ、汚れの有無
・反射面の角度

CHARGING
バッテリーの充電

バッテリーは車体に直接プラグを接続して充電することも、
バッテリーを取り外して室内で充電することもできます

●車体に取付けた状態で充電する場合

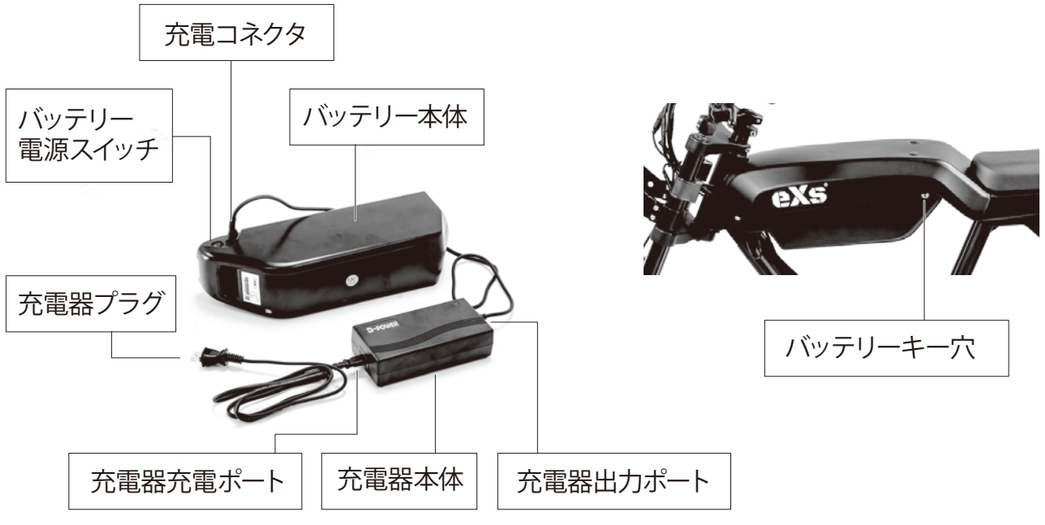
❶ 車体を屋内に移動させます。(屋外では充電器を使用できません)
❷ 充電器の出力ポート側にあるプラグをバッテリー充電コネクタに差し込みます。
❸ 充電器のプラグをコンセントに差し込むと、充電器のランプが赤の点灯になります。
❹ バッテリーが十分に充電できると、充電ランプが緑に点灯します。満充電にするための所要時間は約6~7時間です。
❺ 充電が終わったら、まずコンセントから充電器のプラグを抜き、その後バッテリー充電コネクタに接続するプラグを抜きます。

●バッテリーを車体から取り外して充電する場合

❶ バッテリー用のキーを使用して、バッテリーを車体から取り外します。
❷ バッテリーを屋内へ持ち運び、安定した場所に置きます。
❸ 充電器の出力ポート側にあるプラグをバッテリー充電コネクタに差し込みます。
❹ 充電器のプラグをコンセントに差し込むと、充電器のランプが赤の点灯になります。
❺ バッテリーが十分に充電できると、充電ランプが緑に点灯します。満充電にするための所要時間は約6~7時間です。
❻ 充電が終わったら、まずコンセントから充電器のプラグを抜き、その後バッテリー充電コネクタに接続するプラグを抜きます。
❼ バッテリーを車体に取り付け、キーでロックしてください。
❽ バッテリーが車体に確実に固定されているか確認してください。

禁止 **バッテリーと充電器は幼児の手が届くところに置かないでください。**

必ず守る **バッテリーを外す時は、落下を防ぐため**
手で支えてからキーを回し、取り外してください。
バッテリーは重量があるため、両手で取り扱ってください。



⚠ 警告

バッテリーに繋いでいない時に充電器をコンセントに接続しないでください。破損の恐れがあります。
充電時は加熱による危険を避けるため、充電器に物を置いたり覆ったりしないでください。
バッテリー液漏れ、発熱、発火の原因になります。

⚠ 注意

ご購入時はバッテリー残量が少なくなっている可能性がございますので、ご使用になる前に十分に充電してください。走行時に電力がなくなるおそれがあります。
充電器の電源プラグは100Vのコンセント対応です。
充電器は室内専用ですので、屋外では使用できません。
充電器は安定した場所に置き、本製品や自動車等に放置しないでください。走行時の振動で充電器が損傷する恐れがあります。
本製品に付属のもの以外のバッテリーは充電しないでください。発熱・発火のおそれがあります。
専用充電器以外で本製品のバッテリーを充電しないでください。バッテリーの異常加熱や発火を引き起こす恐れがあります。
付属の電源ケーブルは本充電器専用です。他の機器に接続して使用しないでください。発熱・発火のおそれがあります。
就寝している人の近くでは充電しないでください。低温やけどのおそれがあります。
充電中は充電器やバッテリーの同じ場所に長時間触れないでください。低温やけどのおそれがあります。
白木、畳、塩化ビニールなどの熱に弱い素材の上では充電しないでください。そうした素材の上で使用する場合は断熱材等で保護してください。発熱・発火のおそれがあります。
バッテリーを充電する時は、加熱・発火のおそれがあるため暖房器具など熱源の近くで行うことは避けてください。
バッテリーがショートするような危険な行為は絶対にしないでください。発熱・発火のおそれがあります。

CHARGING

バッテリーの充電 (つづき)

バッテリーご使用の際のアドバイス

バッテリーの残量が少ない時は速やかに充電し、残量が完全に無くなるのを避けてください。本バッテリーはメモリー効果が無いため、随時充電することでバッテリーの長寿命化を図ることができます。
電動アシスト自転車の走り出しの際はペダルに足をかけてゆっくり加速するようにします。また上り坂や向かい風の際はペダルを強く踏み込んでしまうとモーターに大きな負荷がかかるとともにバッテリーも激しく消費してしまうため、できるだけ穏やかにペダルを回すことを心掛けてください。
バッテリーを長期間使用しない時は、十分に充電した状態で保管し、3ヵ月に1度は充電するようにしてください。
バッテリーが故障した場合、購入した店舗にご連絡ください。
環境汚染の恐れがあるので、使用済みバッテリーをむやみに捨てないでください。バッテリーを廃棄する時は回収業者に依頼するか、お住まいの地方自治体の規定に従ってください。

バッテリー残量について

バッテリー残量は5段階で表示されます。満充電の時はランプがすべて点灯し、残量がゼロに近い時（要充電表示）はバッテリー残量表示が点滅します。（あくまでも目安としてご使用ください）

バッテリー残量表示	バッテリー残量（%） 20 40 60 80 100	
残量目盛 5 つとも点灯	81%～ 100%	アシスト走行可能
残量目盛 4 つ点灯	61%～ 80%	
残量目盛 3 つ点灯	41%～ 60%	
残量目盛 2 つ点灯	21%～ 40%	
残量目盛 1 つ点灯	11%～ 20%	要充電 充電がゼロになる前に、早めに充電してください。 バッテリー残量が少なくなると、アシスト力が低下する場合があります。
残量目盛なし、点滅	0%～ 10%	

HOW TO USE SWITCHES

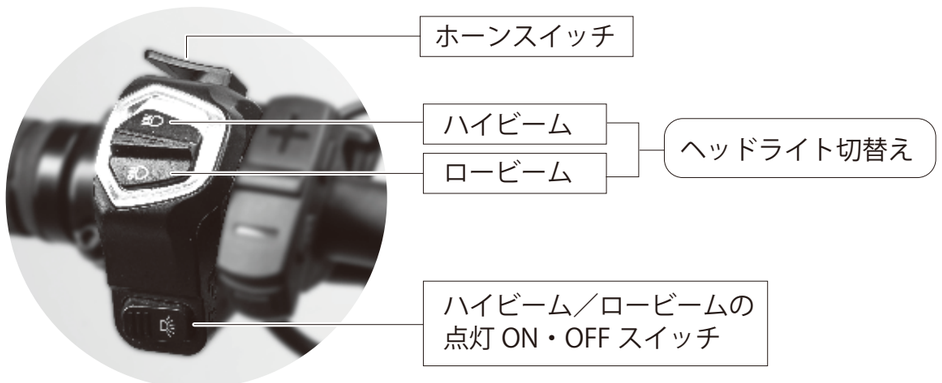
スイッチの使い方

電源／アシスト切替スイッチ

電源スイッチ：走行時にこのスイッチを押して電源をONにしてください。
アシスト切替（強く）：アシスト力を強くしたい時に、「＋」マークのあるこのスイッチを押してください。
アシスト切替（弱く）：アシスト力を弱くしたい時に、「ー」マークのあるこのスイッチを押してください。

この製品のアシストモードは3段階あり、1（エコ）→2（ミドル）→3（パワー）とモード3が最もアシスト力が強くなります。

ヘッドライト切替/ホーンスイッチ



通常はロービームを使用し、状況に応じてハイビームに切替えてください。

HOW TO RIDE
乗り方

本製品で走行する際は、安全のため必ず手順を守って使用してください。

❶ バッテリーにある電源ボタンをONにする
　i：ON　o：OFF
❷ サドルに座る
❸ アシスト切替スイッチにある電源スイッチをONにする
❹ ペダルを踏んでアシスト走行する
　ハンドルをしっかりと握って、前後左右の安全を確認してから走行してください

必ず守る

本製品は道路交通法で定める普通自転車のサイズ規定を超えているため、歩道や自転車専用道路は走行できません。
また、普通自転車としての扱いをされないので道路標識の「自転車は除く」等には該当されません。必ず標識の指示に従ってください。

ブレーキのかけかた

❶ まず左レバーを握って後ブレーキをかける
❷ 右レバーを握り前ブレーキをかける

禁止　・雨天時や下り坂を走行する時はスピードは出しすぎないようにしてください。

警告　・前ブレーキだけを強くかけないでください。前輪がロックして前方に転倒し、ケガをするおそれがあります。

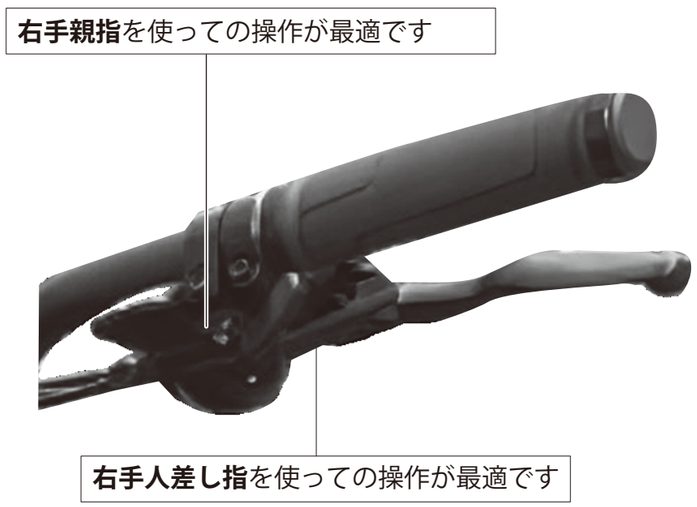
走行のアドバイス

走行中は常に前方や周囲に注意し、急ブレーキはなるべく避けましょう。
下り坂の時は、ブレーキを適時かけながら速度が出すぎないようコントロールしてください。
下り坂の手前では、確実に制動するかブレーキのテストを行ってください。
急な下り坂では、安全のため自転車から降りて押してください。
本製品は前後とも油圧式ディスクブレーキが装備されています。このブレーキは制動力が強いので、操作方法を十分に理解した上で、ブレーキの制動力に注意しながら慣れてください。

変速のしかた

変速する際は必ずペダルを踏んで
チェーンを回しながら行ってください。
変速操作時はペダルを強く踏み込まず、
軽い力でまわしてギアチェンジさせてください。

■シフトレバー



高速 → 低速　ペダリング：重い→軽い
8 > 7 > 6 > 5 > 4 > 3 > 2 > 1

低速 → 高速　ペダリング：軽い→重い
1 > 2 > 3 > 4 > 5 > 6 > 7 > 8

MAINTENANCE
お手入れ方法

●日頃のお手入れ

車体に付いたホコリや泥汚れは、乾いた布などで拭き取ってください。
取りづらい汚れには薄めた台所用中性洗剤を浸した布で拭いてください。

●錆びを防ぐ方法

車体に使われる一部のパーツはスチール素材が使われており、防錆加工を施していますが、使用方法や保管方法によっては錆びが発生する可能性があります。

錆びを防ぐには、日頃の手入れで車体に付いた水分を拭き取るようにし、また注油箇所には定期的に注油してください。

駐輪時や保管時には、できるだけ雨がかからない場所に置くようにしてください。

●車体の動作を良くし、快適な走行を持続させる方法

電動アシスト自転車である本製品は、チェーンやクランクの動きをスムーズにすることにより、走りが軽く感じられます。またモーターやバッテリーの負担も軽減されてアシスト走行距離も長くすることができます。

タイヤの空気圧を適正に保つことで、より快適な走行を実現します。また時々タイヤの状態を確認して、凸が減っている場合は交換してください。

●トラブルを未然に防ぐ方法

制動部品（ブレーキ等）、駆動部品（クランク、チェーン、ディレーラー、ペダル等）、電気部品（バッテリー、モーター、カラーディスプレイ等）や、タイヤ、レバー、ケーブル類が劣化・破損すると、走行性能に影響を及ぼすのはもちろん、使用中に走行ができなくなる恐れもあります。それを防ぐために、使用前や使用後、また長期間使用しない場合は時々フレームや各パーツが劣化していないかチェックしてください。

お願い

●この電動アシスト自転車は生活防水性能を備えていますが、バッテリー、駆動ユニット、アシスト切替スイッチ、ヘッドライト切替スイッチ、カラーディスプレイ、ヘッドライト、テールライト等の電装パーツ、そしてホイールやヘッドパーツ等の回転部、サスペンションには強い水圧で水を直接かけたり、高圧洗浄機やスチームクリーナーを使った洗車はしないでください。部品内部に水が侵入して故障する原因になります。もし駆動ユニットやバッテリー等が水に浸かった場合は,直ちに使用を中止して自転車店にご相談ください。

●バッテリーに結露などの水が付着した場合は、そのまま使用せず、水分を拭き取ってからご使用ください。

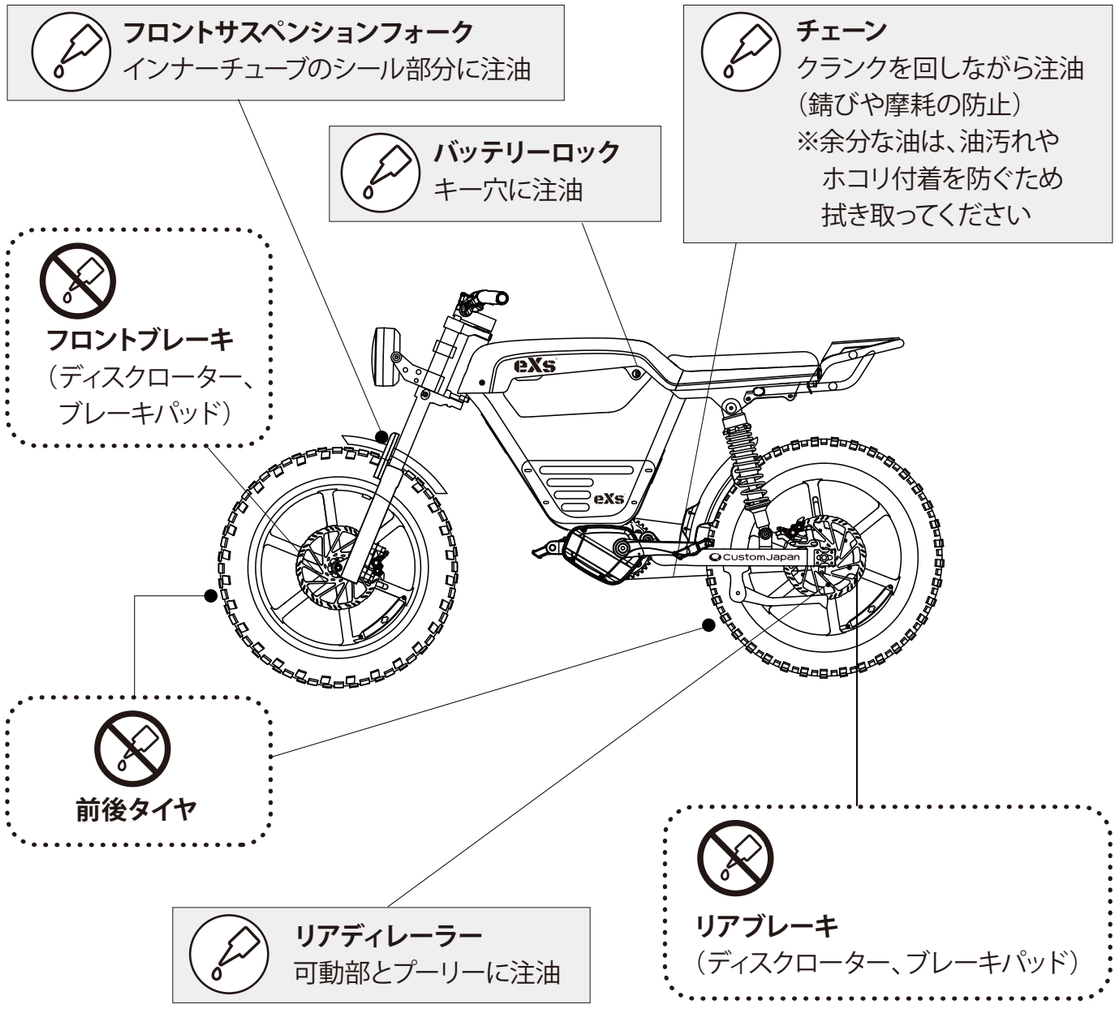
●海の近くでの走行、融雪剤や農薬などを散布した後の道路走行、また台風が通過した後といった環境下で走行すると、車体に塩分や薬剤が付着して車体のステンレス部品でも錆びが生じる場合があります。その場合は優しく水道水をかけて塩分や薬剤を洗い流し、乾いた布で拭き取ってください。

注油箇所と注油禁止箇所

注油箇所　　注油禁止箇所

●注油の際は、必ず自転車用オイルを使用してください。
食用油等は硬化して本製品の動作に支障をきたす恐れがあるので使用しないでください。

●余分なオイルは乾いた布で拭き取ってください。



CARRYIN・CUSTODY・DISPOSAL
持ち運び・保管・廃棄について

●持ち運び

⚠ 警告

■自転車を自動車などで運ぶ際はバッテリーを取り外してください。
自動車に積載する時などに、予期せずペダルに力がかかってセンサーが働いて車輪が回転し、巻き込まれてケガをする恐れがあります。

お願い

■リチウムイオンバッテリーは危険物のため、公共交通機関や飛行機、船への持ち込みや輸送は禁止されています。交通事業者によっては輸送可能な場合もある（利用に関わる制限あり）ので、利用する場合は事前に交通事業者に問い合わせてください。

●保管

■保管場所
・雨や直射日光を避けられる場所
・風通しが良く湿気の少ない所
・平坦で路面に凹凸が無いところ

■長期間保管時
・ホコリ付着防止のためサイクルカバーをかけてください。
・バッテリーを取り外した状態で保管する場合は、接点部に汚れやホコリが付着しないように注意してください。

⚠ 注意

■台風やゲリラ豪雨など雨風が強い時、自転車を横倒しにしないでください。モーターやバッテリー内部に水が入り、異常動作や故障の原因になります。

⚠ 注意

■長期間保管した後に使用する場合は、乗る前に制動・駆動部品、タイヤ、ケーブル類を点検してください。けがをするおそれがあります。

●廃棄

Li-ion

・自転車、充電器を廃棄する際は、お客様がお住まいの地域のルールに従ってください。
・使用済みのバッテリーは必ずリサイクル協力店にご相談いただくか、
引き取り可能な自転車店等にお持ち込みください。
・地域で行っている不燃ゴミや大型ゴミでは絶対に廃棄しないでください。
・バッテリーは約600回充電すると性能が20%ダウンし、満充電でのアシスト走行距離が短くなります。この充電回数を目安に、早めの交換をおすすめします。

定期点検チェックリスト CARE

■本製品を快適な状態に保つため、購入後2ヶ月後の初回点検、その後半年ごとに定期点検を実施してください。
検査内容ごとに該当箇所を点検し、異常の有無を確認してチェックリストに記入してください。もし動作不良や傷・損傷等の異常が確認されたら、自転車店に相談し調整・部品交換等の対応を行ってください。

検査内容	2ヶ月	半年	1年	1年半	2年
フレーム・フロントサスペンションフォークの変形、破損、ひび割れの有無					
ヘッドパーツ、BBのがたつきや摩耗の有無					
ハンドルバーの緩み、がたつきの有無					
ギアクランク部の摩耗、オイル切れ、ギアの変形やひびの有無					
ベアリング等の回転部品の摩耗やグリス切れの有無					
チェーンの伸びやオイル切れの有無					
ブレーキ動作に異常がないか					
ブレーキパッドの摩耗の有無					
タイヤの摩耗や傷の有無、空気圧は適正か					
ホイールの歪み・変形の有無					
泥よけの変形の有無、取り付けは適正か					
リアディレーラーの動作は正常か					
サドルの固定は確実か、がたつきや損傷の有無					
ヘッドライト・テールライトが正常に点灯するか					
スタンドの動作は正常か、がたつきや変形・傷の有無					
ホーンの動作は正常か					
ケーブル類にほつれや折れがないか					
各ボルト・ナットに緩みが無いか					

TROUBLESHOOTING
故障かな?と思ったら

症　状		対処方法	ページ
電源	電源が入らない	●バッテリーが確実に取り付けられていますか? ▷バッテリーを取り外してみて、再度しっかりと取り付けてください。	26
		●バッテリー残量がゼロになっていませんか? ▷バッテリーを十分に充電してから、電源を入れてください。	26
		●バッテリーにあるスイッチがOFFになっていませんか? ▷O/Iの表示があるバッテリーのスイッチのI側(ON)を押す。	30
		●ケーブルが外れていませんか? ▷各パーツを繋いでいるケーブルの接続部を点検し、外れている場合は販売店にご相談ください。	25
	バッテリーの残量表示が点滅してアシストしない	●電源スイッチを押す時にペダルを踏んでいませんでしたか? ▷電源を一度切って、再度電源を入れ直してください。	30
	アシストが切れたり入ったりする	●ケーブルの接続部が緩んでいたり、接続端子が汚れていたりしませんか? ▷自転車店に相談してください。	25

症　状		対処方法	ページ
充電	充電できない	●バッテリーに充電プラグが正しく接続されていますか? ▷バッテリーに充電プラグを正しく接続してください。	26
		●充電プラグの端子が汚れていませんか? ▷プラグの汚れを取り除いてください。	26
走行距離	アシスト走行距離が短い	●充電ができていますか?	26
		●長期間バッテリーを充電せずに放置されていませんでしたか? ▷バッテリーを再度充電してください。	26
		●購入後初めて使用するバッテリーですか? ▷バッテリーを充電してから使用してください。	26
		●タイヤの空気圧が低くなっていませんか? ▷タイヤに空気を入れ、適切な空気圧を保つようにしてください。	23

TROUBLESHOOTING
故障かな?と思ったら (つづき)

	症　状	対処方法	ページ
走行距離	アシスト走行距離が短い	●上り坂の多い所など道路条件や走行方法(強くペダルを踏む走行を多用するなど)により走行距離が短くなります。	28
		●寒い時期はバッテリーの特性により性能が低下します。	—
		●繰り返しての充電、長時間の使用によりバッテリーは劣化して性能が低下します。 ▷1回の充電でのアシスト走行距離が顕著に短くなった場合は、新しいバッテリーに交換してください。交換目安は新品時の約50%以下になった時です。	34
その他	充電中にバッテリーや充電器が熱くなる	●充電中はバッテリーや充電器が熱くなりますが、これは通常の状態であり異常ではありません。	—
	充電後、満充電(充電残量表示が5つ点灯)していない	●充電途中に電源プラグが抜けたり抜いたりしませんでしたか? ▷再度充電してください。	28

	症　状	対処方法	ページ
その他	充電後、満充電(充電残量表示が5つ点灯)していない	●充電プラグの端子部にホコリや汚れが付着していませんか? ▷乾いた布などでプラグを掃除してから、再度充電してください。	32
		●充電回数が多かったり、長期間使用したバッテリーですか? ▷バッテリーが劣化して性能が低下しています。新しいバッテリーを交換してください。	34
	充電器の電源プラグをコンセントに差し込むと火花が散る	●充電器が正常な状態でも火花が散る場合があります。 ▷コンセント端子以外から火花が出る場合は製品異常の可能性があるので、自転車店にご相談ください。	—
	ペダルを踏んだ時、足に振動を感じる	●ペダルを足に乗せた状態で停車していると振動を感じる場合がありますが、モーター固有の特性であり、異常ではありません。	—
	モニターに、赤字で「ERROR」の文字と共に2桁の数字が表示されアシストが働かない	●電気系統の異常ですので、表示されている数字を記録し、自転車店にご連絡ください。	—

WARRANTY
保証について

保証対象と保証期間

●フレーム/フロントサスペンションフォーク/ディスプレイ/コントローラー/モーター/電子ケーブル/充電器

保証期間：**ご購入後６ヶ月間**

●バッテリー

保証期間：**ご購入後６ヶ月間**

保証対象部品が、保証期間内に修理もしくは交換が必要となった場合、まず下記項目を確認・記入した上で、購入された販売店にご相談ください。

車体番号：

お買い上げ日：

販売店名：

症状：

保証期間内であっても、使用状況によっては有償での対応となる場合があります。

上記以外の部品については、通常の走行や使用で摩耗・損傷の可能性があるため、保証の対象外となります。

この保証は日本国内で販売・使用されたものに限ります。

SPEC
仕様

品名	eXs e-Bike MotoLike
全長	1710mm
全幅	730mm
全高	1070mm
タイヤ	20×4インチ
総重量（バッテリー含む）	43.8kg
フレーム	アルミフレーム
ハンドルバー	φ22.2mm*720mm、クランプ径31.8mm
リフレクター	前後ホイール、ペダルに取付け
スタンド	標準装備
補助速度範囲	24km/h
充電1回あたりの走行距離	60～80km
モーター定格出力	250W
バッテリー	48V 13Ah
充電器	54.6V 2.0A 100-240V(50/60Hz)
充電時間	約7時間
ホーン	12V電動二輪車用ホーン 1.5A 100dB
変速機	8段変速
ブレーキ	前後油圧式ディスクブレーキ
照明装置	ヘッドライト（High/Low切替）、テールライト（ブレーキ連動）
推奨身長	165cm以上
耐荷重	車体本体：100kg　リアキャリア：15kg
梱包物	ペダル、取付用工具、バッテリー用キー（ハンドルバー付近のケーブル部に取付け）

MEMO メモ